

介護サービス利用実績等調査（サービス量）〔市町村〕

市町村名 厚岸町

区分		単位	令和6年度			市町村評価欄		
			年度計画	年度実績	進捗率(%)	分析評価	課題点	対応策
居宅サービス	訪問介護	回／月	2,454	1,574	64.1%	計画値の利用見込みよりも利用希望が少なかったものと考えられる。	サービスを必要とする利用者数の把握に努める必要がある。	利用状況を確認し、適正な計画値を検討する。
	訪問入浴介護	回／月	10	4	40.0%	計画値の利用見込みよりも利用希望が少なかったものと考えられる。	サービスを必要とする利用者数の把握に努める必要がある。	利用状況を確認し、適正な計画値を検討する。
	訪問看護	回／月	51	52	102.2%			
	訪問リハビリテーション	回／月	319	163	51.0%	計画値の利用見込みよりも利用希望が少なかったものと考えられる。	サービスを必要とする利用者数の把握に努める必要がある。	利用状況を確認し、適正な計画値を検討する。
	通所介護	回／月	1,037	1,045	100.8%			
	通所リハビリテーション	回／月	324	334	103.0%			
	短期入所生活介護	日／月	556	477	85.8%			
	短期入所療養介護	日／月	34	27	79.4%			
	特定施設入居者生活介護	人／月	21	16	76.2%			
	居宅療養管理指導	人／月	59	57	96.6%			
	福祉用具貸与	人／月	183	185	101.1%			
	特定福祉用具販売	人／月	3	4	133.3%	計画での見込み人数の絶対値が小さかったことから、乖離率が大きくなった	サービスを必要とする利用者数と利用回数の把握に努める必要がある。	利用状況を確認し、適正な計画値を検討する。
	住宅改修	人／月	2	2	100.0%			
地域密着型サービス	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	人／月	2	3	150.0%	計画での見込み人数の絶対値が小さかったことから、乖離率が大きくなった	サービスを必要とする利用者数と利用回数の把握に努める必要がある。	利用状況を確認し、適正な計画値を検討する。
	夜間対応型訪問介護	人／月	0	0				
	地域密着型通所介護	回／月	42	54	127.4%			
	認知症対応型通所介護	回／月	68	26	38.1%	計画値よりも利用者数が少なかったことから、利用回数と給付費が減となった	サービスを必要とする利用者数と利用回数の把握に努める必要がある。	利用状況を確認し、適正な計画値を検討する。
	小規模多機能型居宅介護	人／月	2	3	150.0%	計画での見込み人数の絶対値が小さかったことから、乖離率が大きくなった	サービスを必要とする利用者数と利用回数の把握に努める必要がある。	利用状況を確認し、適正な計画値を検討する。
	認知症対応型共同生活介護	人／月	38	36	94.7%			
	地域密着型特定施設入居者生活介護	人／月	0	0				
	地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	人／月	18	18	100.0%			
	看護小規模多機能型居宅介護	人／月	0	0				
施設サービス	介護老人福祉施設	人／月	59	58	98.3%			
	介護老人保健施設	人／月	33	32	97.0%			
	介護医療院	人／月	1	1	100.0%			
	介護療養型医療施設	人／月						
介護予防サービス	介護予防訪問入浴介護	回／月	0	0				
	介護予防訪問看護	回／月	4	2	50.0%	計画値よりも利用者数が少なかったことから、利用回数と給付費が減となった	サービスを必要とする利用者数と利用回数の把握に努める必要がある。	利用状況を確認し、適正な計画値を検討する。
	介護予防訪問リハビリテーション	回／月	41	16	39.2%	計画値よりも利用者数が少なかったことから、利用回数と給付費が減となった	サービスを必要とする利用者数と利用回数の把握に努める必要がある。	利用状況を確認し、適正な計画値を検討する。
	介護予防通所リハビリテーション	人／月	40	28	70.0%	計画値よりも利用者数が少なかったことから、利用回数と給付費が減となった	サービスを必要とする利用者数と利用回数の把握に努める必要がある。	利用状況を確認し、適正な計画値を検討する。
	介護予防短期入所生活介護	日／月	5	8	166.7%	計画での見込み人数の絶対値が小さかったことから、乖離率が大きくなった	サービスを必要とする利用者数と利用回数の把握に努める必要がある。	利用状況を確認し、適正な計画値を検討する。
	介護予防短期入所療養介護	日／月	0	0				
	介護予防特定施設入居者生活介護	人／月	3	4	133.3%	計画での見込み人数の絶対値が小さかったことから、乖離率が大きくなった	サービスを必要とする利用者数と利用回数の把握に努める必要がある。	利用状況を確認し、適正な計画値を検討する。
	介護予防居宅療養管理指導	人／月	0	1				
	介護予防福祉用具貸与	人／月	57	56	98.2%			
	特定介護予防福祉用具販売	人／月	2	2	100.0%			
	住宅改修	人／月	2	1	50.0%	計画値での利用見込みよりも利用希望が少なかったため。	サービスを必要とする利用者数と利用回数の把握に努める必要がある。	利用状況を確認し、適正な計画値を検討する。
地域密着型介護予防サービス	介護予防認知症対応型通所介護	回／月	0	0				
	介護予防小規模多機能型居宅介護	人／月	0	0				
	介護予防認知症対応型共同生活介護	人／月	0	0				